

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
ローレル賞	2018/11/27	SII	川崎	1600m	ミドルペース	良	ハウショウレイルの取捨

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ケイエスアッキ	牝2	54	笹川	プリサイスエンド	ミスプロ系	クロフネ	ノーザン系	D	B	D	D	D	D		
2	2	ダバイダバイ	牝2	54	矢野	リーチザクラウン	サンデー系	プライアンスタイム	ロベルト系	D	A	D	D	D	D		
3	3	マオノピュア	牝2	54	山本紀	メイショウボラー	ヘイロー系	サウスヴィグラス	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
4	4	ブラチナベルン	牝2	54	的場文	ヘルシャザール	ミスプロ系	プライアンスタイム	ロベルト系	D	B	D	D	D	D		
5	5	ファイヤーアラム	牝2	54	山崎	アサクサキングス	ノーザン系	Louis Quatorze	ノーザン系	D	B	D	D	D	D		
	6	スティールティアラ	牝2	54	桑村	サウスヴィグラス	ミスプロ系	キンググローリアス	ミスプロ系	C	A	B	C	B	B	△2	
6	7	アークヴィグラス	牝2	54	瀧川	サウスヴィグラス	ミスプロ系	フジキセキ	サンデー系	B	B	B	B	B	B	○	
	8	ドゥーナ	牝2	54	町田	フィガロ	ノーザン系	アフリート	ミスプロ系	D	C	C	D	D	D		
7	9	パレスラブリー	牝2	54	阿部龍	ディープリランテ	サンデー系	Singspiel	ノーザン系	C	B	B	B	B	B	▲	
	10	マーチャンスルー	牝2	54	森	ワイルドドラッシュ	アイスカベイド系	Seattle Slew	ナスルーラ系	D	A	C	B	C	B	△3	
8	11	ハウショウレイル	牝2	54	御神本	ヴィクトワールピサ	サンデー系	Unbridled's Song	ミスプロ系	A	A	B	B	A	B	◎	
	12	グレイアンジェラ	牝2	54	吉原	スマートボーイ	ノーザン系	タニノギムレット	ロベルト系	B	A	B	B	B	B	△1	

隊列図	見解	ラップタイム
スティ ホウシ アーク グレイ パレス マーチ ダバイ ファイ ケイエ ドゥー マオノ ブラチ ミドルペース	<p>今年のローレル賞はハウショウレイルがここも突破できるかどうかの判断がすべてだろう。デビューからの3戦はすべて馬なりで大差勝ち。管理する小久保調教師が「オバケです。」と評し、オーナーが海外遠征も視野に入れているという話もあるほど。そのハウショウレイルにとって今回が本当の試金石。これまでの3戦は相手が弱過ぎたこともあり、レースとしての形になっておらず（2着以下の騎手から「スピード違反」という声が出るなどレベルが違い過ぎた）、事実上の公開調教。ある意味で今回が初出走といえるかもしれない。今年のローレル賞は、エーデルワイス賞勝ち馬アークヴィグラスを筆頭にグレイアンジェラ、スティールティアラ、パレスラブリーと役者がそろった。果たしてハウショウレイルはここも突破し、年末の一番に進むことができるのだろうか（全日本2歳優駿ではなく、東京2歳優駿牝馬に進む模様）。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はハウショウレイルがやはり強い。デビュー3戦すべて馬なりで大差勝ちという規格外のパフォーマンスを見せている馬。（以下省略）</p>	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ケイエスアッキ		前走特別戦で壁にぶつかった。重賞では明らかに荷が重い。		
2	2	ダバイダバイ		2走前のサプライズパワー・メモリアルではミューチャリーの3着。前走特別戦勝利も納得だが、重賞ではさすがに荷が重いだらう。使われるたびに馬体重が減り続けているのも懸念材料。		
3	3	マオノピュア		3戦して勝利を挙げたのは未受賞（賞金を一度も獲得していない馬の争い）の1勝のみ。重賞で通用するレベルではない。		
4	4	プラチナベルン		近走は特別戦でも掲示板に入るのが精いっぱい。苦戦必至だらう。		
5	5	ファイヤーアラム		平和賞のカジノフォンテン（2番人気7着）、ハイセイコー記念のダルヴァザ（6番人気8着）を見ても、1戦1勝での重賞挑戦は想像以上にハードルが高い。本馬は新馬で優勝したとはいえ、走破時計、走りっぷりからとても重賞レベルの馬ではない。99%通用しないはず。		
	6	スティールティアラ	△2	スタートセンス抜群で、ここも逃げる形になりそう。3走前のフローラルカップの走りから距離自体は問題がないものの、今回は直後に断然人気のホウショウレイルがピッタリとマーク。ホウショウレイルが早め先頭に立つ形になると、展開的には苦しくなるだらう。		
6	7	アークヴィグラス	○	デビューしてから1200m以下の距離しか経験していないが、リリーカップでは馬群の後ろで我慢して内から差し切り、エーデルワイス賞では逃げ、先行勢を外から見ながらの抜け出し。レースセンスが非常に高く、距離が伸びても力を発揮できるタイプだらう。サウスヴィグラス産駒も強み。		
	8	ドーナ		特別戦で全く通用していない現状。ここは参加するだけだらう。		
7	9	パレスラプリー	▲	角川厩舎3頭出しの中では最も人気がないかもしれないが、管理する角川調教師が「レースの上手さでは一番上」と評するように安定して力を発揮できるのが強み。前走金沢シンデレラカップでも相手が弱かったとはいえ一発解答。着差以上に余力を感じさせる内容で、パフォーマンスはまだ上げられそうだった。		
	10	マーチャンスルー	△3	戦線的にバツサリ切ってもいいのだが、調教の動きがどうも抜群に良さそう。放牧明けで別馬になったというコメントもあるので、その変わり身に少しだけ期待して押さえておきたい。鞍上も当然ながら怖い。		
8	11	ホウショウレイル	◎	デビュー3戦すべて馬なりで大差勝ちという規格外のパフォーマンスを見せている馬。3戦とも相手が弱かったのは間違いないが、前走新鋭特別は過去の同レースの勝ち時計と比較しても抜きん出ており、2着スフォルツアートが例年の勝ち時計の水準なので、今年は1頭化け物がいたと解釈していい。		
	12	グレイアンジェラ	△1	2走前のエーデルワイス賞で豪脚を見せたように能力だけならアークヴィグラスに匹敵するものがある。問題はその力を発揮できるかどうか。砂を被ると嫌がったり、やや注文がつくタイプなので、能力を出し切れるかが課題になりそう。ただスマートボーイ産駒は川崎1600mでよく走るので要注意。		